

# 実績報告書

		大阪市此花区桜島2-1-33		合同会社ユー・エス・ジェイ 社長CEO ジャン・ルイ・ボニエ
届出者	住所		氏名	
特定事業者の主たる業種		95 その他のサービス業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		当社はフロリダとハリウッドにあるユニバーサル・スタジオをベースにしたテーマパークを運営しており、パーク内にはアトラクション施設、物販店舗、飲食店舗、事務所等がある。		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間					
2018 年	4 月	1 日	～	2021 年 3 月 31 日 (3年間)	
(2) 前年度における温室効果ガス総排出量					
区分	基準年度( 2017 )年度	前年度( 2019 )年度			
温室効果ガス総排出量	63,977 t-CO <sub>2</sub>	67,265 t-CO <sub>2</sub>			
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	69,343 t-CO <sub>2</sub>	73,132 t-CO <sub>2</sub>			
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO <sub>2</sub>			
(3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況					
区分		削減目標 (2020 年度)	第1年度 (2018 年度)	第2年度 (2019 年度)	第3年度 (2020 年度)
選択	削減率(排出量ベース)	%	%	%	%
	レ	削減率(原単位ベース)	3.0 %	0.9 %	-3.7 %
削減率(平準化補正ベース)		3.0 %	0.7 %	-4.0 %	%
吸収量による削減率		%	%	%	%
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	( 建屋延床面積×平均営業時間/1000 )				
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)					

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

<p>新型コロナウイルスの世界的な蔓延に対する対策として、2/29～3/31までの期間休業をした為、温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値である平均営業時間が減少した事により、削減率が上昇する結果となった。</p>
---

(2) 推進体制

<p>テクニカルサービス部が中心となり、運用方法改善を中心とした省エネルギー化を推進します。部門横断的な省エネプロジェクトチームを継続して運用し、省エネルギー施策の浸透を図ります。電気の需要の平準化対策としては、コージェネレーション設備を活用しピークカットを行っています。</p>
--

## 実績報告書

届出者	住所	大阪府枚方市大峰南町10番1号	氏名	株式会社ユニオン 代表取締役社長 山田 英明
特定事業者の主たる業種		21窯業・土石製品製造業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		ガラス製品の製造		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間
2018 年 4 月 1 日～ 2021 年 3 月 31 日 (3年間)

(2) 前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度( 2017 )年度	前年度( 2019 )年度
温室効果ガス総排出量	14,169 t-CO <sub>2</sub>	13,318 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	14,617 t-CO <sub>2</sub>	13,723 t-CO <sub>2</sub>
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO <sub>2</sub>

(3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2020 年度)	第1年度 (2018 年度)	第2年度 (2019 年度)	第3年度 (2020 年度)
選択	レ	削減率(排出量ベース)	%	%	%
		削減率(原単位ベース)	3.1 %	3.8 %	10.4 %
削減率(平準化補正ベース)		3.0 %	4.0 %	10.5 %	%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	(生産量(トン))
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

<p>基準年度に対し、原単位で10.4%のCO<sub>2</sub>排出量を削減できた。引き続き各製品についてエネルギー原単位改善への取り組み、期中の半製品原料の導入による効果が発現したと推測。</p>
--

(2) 推進体制

<p>エネルギー管理統括者を社長、エネルギー管理企画推進者を製造部長とし、エネルギー管理者および各製造課長を組織体とした省エネ推進組織を確立している。 4半期毎にPDCAサイクルに基づいた省エネ推進活動を実施。年1回全従業員にエネルギー使用量・原単位推移を周知・教育活動を実施。</p>
---

## 実績報告書

		枚方市招提田近3-10		ユニオンケミカー株式会社 代表取締役社長 木村栄一
特定事業者の主たる業種		32その他の製造業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		プリンタサプライの製造販売、複写関連用品の製造販売、文具・オフィス用品の製造販売		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間					
2018年	4月	1日	～	2021年 3月 31日 (3年間)	
(2) 前年度における温室効果ガス総排出量					
区分	基準年度( 2017 )年度	前年度( 2019 )年度			
温室効果ガス総排出量	3,329 t-CO <sub>2</sub>	3,619 t-CO <sub>2</sub>			
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	3,506 t-CO <sub>2</sub>	3,797 t-CO <sub>2</sub>			
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO <sub>2</sub>			
(3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況					
区分		削減目標 (2020 年度)	第1年度 (2018 年度)	第2年度 (2019 年度)	第3年度 (2020 年度)
選択	削減率(排出量ベース)	%	%	%	%
	レ 削減率(原単位ベース)	3.0 %	-5.2 %	-14.3 %	%
削減率(平準化補正ベース)		3.0 %	-4.8 %	-13.8 %	%
吸収量による削減率		%	%	%	%
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	(生産量(塗工㎡))				
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)					

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

<p>1. 2019年5月故障による空調機1基(水冷式→空冷式)更新し電気使用量増となった。2. ボイラー設備の老朽化(熱交換器:エコノマイザー)によりボイラー効率の低下から都市ガス増となった。この対応として交換時期を勘案し交換予定3. 特殊品(時間当たりの出来高低い)の受注品が増加傾向にあり原単位である塗工㎡数が昨年比2.8%減少した。</p>
--

(2) 推進体制

<p>エネルギー統括者、エネルギー管理企画、エネルギー管理者を中止にした省エネの会社啓蒙活動。</p>
---